

平成29年度 第3回校内研
「保健体育科」

授業のデザイン

授業者：鈴木久嗣・小原逸平

- 1 日時 平成29年 10月 26日(木) 第2時間目
2 学級 3年3, 4組
3 題材(単元) 陸上運動「持久走」
4 本時の授業

(1) 目標 12分間のクーパー走に取り組む。
相互援助活動に取り組む。

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援(◇)と見取りの姿(◎)
<p>① 本時の課題と流れを確認する。</p>	
<p>12分間の「クーパー走」に取り組む</p>	
<p>② 基礎の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定された時間を意識して準備運動に取り組む ・長距離を行うために必要な準備運動を行う。 	<p>◎生徒にまかせながらではあるが、正しく準備運動ができているか。 ◎あと何分で自分の出走時間になるかを意識しているか。 ◇最低限必要な準備運動は声をかけ、より良くできている生徒の活動を紹介する。 ◇出走時間は大きな声で、聞こえるように分刻みで伝えていく。</p>
<p>③ ジャンプの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12分間の「クーパー走」に取り組む。 	<p>◎12分間より長い距離を目指して走り続けることができるか。 ◎ペアが、しっかりと声をかけることができているか。 ◇幅広い視野で健康観察をしながら、タイムを読みながら声をかけていく。</p>
<p>④ まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート用紙に記録を記入する。 	<p>◎互いの走行距離を確認し合い、レポート用紙にまとめる。 ◇当日中の提出になるので、書き方について声をかける。</p>

(3) 「学び合い」をどこでどう生かし深めていくか

* 12分間のクーパー走は大変苦しい内容である。ペアになった者が健康観察をしながらも一層の力が出せるようにお互いに声を掛け合う。また周回が重なるため、周回遅れが出ることも予想されるため、ペアが責任を持って周回のカウントを行うことが大切である。